企業・団体名（　株式会社インテリア大英　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組（県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	雇用形態、昇進、福利厚生等様々な観点において差別のない環境を構築できるよう、経営トップ（役員）が常に意識して行動している。（研修の実施）					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントを禁止する社内環境を作り出している。研修の実施や、経営トップとの食事会等において相談体制を構築している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働基準法の内容を経営トップを始め、従業員一人一人が意識する環境を作っている。（社内研修の実施）								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者を雇用しておりません				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	高所作業時の保護簿の着用、フルハーネスの着用はもちろん、安全衛生責任者による安全ミーティングを実施している。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	コロナの状況を見つつ、社員計画の社員旅行の実施や懇親会を開催している。【予定】 メンタルヘルスに対応した休職規程等を整備する			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性社員が多数在籍しており、パート、アルバイトから社員への登用実績も多数ある。また、この点を採用時に伝えている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	資格取得に係わる資金はすべて会社負担とするのはもちろん、研修会等への参加も実施してる。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	常に公正、公平な待遇となるよう、経営トップ（役員）全員での賃金の確認をしているだけでなく、正当な評価をできるよう社員の行動、実績を確認している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ				3					8								
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	マニフェスト制度に則り、適切に分別した産廃を業者に委託し、廃棄している。また、廃棄物の保管所も、景観を損ねないよう周囲を囲い、近隣住民への配慮も行っている。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	自社で使用している電気、ガス、石油等の化石燃料の使用量を経営トップ（役員）が把握していることはもちろん、決算時には昨年比等のデータを把握することとしている。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	自社で使用している電気、ガス、石油等の化石燃料の使用量を経営トップ（役員）が把握していることはもちろん、抑制の為社用車のハイブリット化の導入を進めている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	有機溶剤等の化学物質を使用する際は、必要最低限とし、使用方法を順守している。【予定】有機溶剤作業主任者資格取得予定			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	水希釈による接着剤の廃棄には、硬化剤を使用し産廃として廃棄することで、環境汚染防止に務めている。						6.6								15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	産廃分別の徹底はもちろん、段ボールや空き缶等のリサイクルに積極的に取り組んでいるとともに、残材（内装材）を再利用することで、リユース活動に努めている。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ							6.4 6.6										

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ													12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職･贈収賄を禁止するモラルの周知はもちろん、汚職･贈収賄等が発生しないよう、公正な社員教育に努めている。（研修会、ミーティングの実施）																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	競売の現場においては特に、不正競争行為を禁止するモラルの周知はもちろん、不正競争行為等が発生しないよう、公正な社員教育に努めている。（研修会、ミーティングの実施）																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産に関する社員教育に努めている。（研修会、ミーティングの実施）特に、SNSへの投稿に関する事項には重点的に教育を行っている。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	顧客管理は紙媒体で管理しないことを徹底しているだけでなく、PC内のデータ保護の為、セキュリティ対策を行っている。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																	16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ						5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	シックハウスの原因の一つであるホルムアルデヒドの含有量が、国の指定する基準F★★★★0.005mg／㎥h以下の商品のみを使用している。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	粗悪品をお客様に提供することのないよう、適正な業者から商品を仕入れるだけでなく、施工する職人によってサービスに差が出ないよう、1級技能士の取得を社員にすすめ、安定したサービスを提供できるようにしている。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ							6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	商工会活動に積極的に参加することで、地域を活気づける行動をしているだけでなく、自社だけでのフェスティバルへの出店や体験会を実施することで、地元の活性化を促している。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ					4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ									8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	社内ミーティングや朝礼等での理念や目標の共有はもちろん、それに向けた具体的な行動指針等を明確にすることで、社員全員への共有を行っている。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	就業規則だけでなく、法令遵守の概念も社内ミーティング等で共有している。特に道路交通法や建築基準法に関しては毎日携わるものなので、付随する資格取得を推奨している。（建築施工管理技士等）																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	【予定】消防団協力事業所表示制度を導入し、担当を決めることで社内においても社会･環境に及ぼす影響の認識を改める																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーと円滑なコミュニケーションをとることで、不測の事態が発生した場合においても、落ち着いて、適切な対応をすることで、トラブルを最小限に抑えるよう、社員教育を行っている。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ										9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
抗菌、防カビ、調湿等、内装の観点から健康にかかわる商材を可能な限り使用する	打ち合わせ、見積もり段階で健康にかかわる商材を積極的にアピールしていく			3														
施工中に発生する廃プラステックを可能な限り低減させる	採寸発注段階での数量の見直しを行う			3				7				11	12	13	14	15		
CO2排出量を可能な限り低減させるために、車両や発電機等の利用に注意する	乗合可能な場合は実行し、発電等は利用時以外電源を切る			3				7				11	12	13	14	15		

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）